

地震に備える
家造り

木造住宅の無料耐震診断を受けてみませんか？

耐震診断の申込み

耐震診断・耐震改修 申込受付中

〈対象となる住宅〉 次の全てに該当する住宅です。

- ①昭和56年5月31日以前に工事着手した木造住宅
 - ②一戸建ての住宅または2分の1以上が住宅として使用されている併用住宅（長屋、共同住宅及び賃貸住宅は対象外）
 - ③在来工法で階数が2階以下の住宅（ツーバイフォー工法や非木造の住宅は対象外）
- ※診断費用は、国・県・町が負担するため無料です。



熊本地震被害状況

耐震診断の実施

耐震補強の方法とそのため概算工事費をご提案します。診断は住宅内部や天井裏、床下の調査も必要になりますので、当日は立会いをお願いします。

申込順で受け付けております。予定件数に達した場合は、翌年度の実施とさせていただきますのでご了承ください。

耐震改修の実施

耐震補強工事または現地建替え工事に補助します。

補助額は、**補強設計等費及び補助対象工事費の8割を合算した額、限度額100万円**です。

※補助金の交付申請を行う前に、建築工事（除却工事を含む）に着手してしまうと、補助は受けられませんのでご注意ください。

〈対象となる住宅〉 次の条件を全て満たす住宅です。

- ①下諏訪町が実施する耐震診断の結果、総合評点が1.0未満の住宅
 - ②耐震補強工事後の総合評点が0.7以上かつ工事前の評点を上回る工事、又は既存住宅の除却を伴う現地建替え工事で年度内（概ね2月末日）に工事が完了するもの
- ※子や孫が改修工事を行う場合も補助対象となります。

※詳細については、町ホームページまたは担当課にお問い合わせください。

■問い合わせ 下諏訪町 建設水道課 都市整備係 電話27-1111（内線243）

歯科コラム dental column

vol.3 親知らずは抜く？抜かない？

親知らず、専門的には第三大臼歯（智歯）といいます。平均寿命が40歳前後だった昔では、萌出（歯が生えること）が終了する20歳代前半までに親が亡くなってしまったため、『親が知らない歯』というのが由来といわれています。

この親知らずの腫れにより痛みが出る病気が智歯周囲炎です。親知らずは上下左右の一番奥の永久歯として最後に生えてきます。（顎の骨のなかに埋まったままや先天的に無い人もいます。）一番最後に、そして一番奥に生えてくるために顎骨のなかで生えるスペースが不足し、正常に生えることが難しく萌出不全、半埋伏に陥ることが多くなります。この状態により、粘膜と歯の間に深い歯周ポケットが形成され、その中で細菌が増殖し、急性あるいは慢性的に炎症を起こします。

また、ものを噛む際に粘膜が傷つき、智歯周囲炎が生じることもあります。残念ながら、一度智歯周囲炎が起こると何度も繰り返します。好発年齢は主に10歳代後半から20歳代前半までですが、放置すると繰り返すため、30歳代、40歳代でも痛みが出ることがあります。



そして、完全に埋まったままであれば問題ないというわけではありません。歯肉は加齢とともに退縮します。特に隣に生えている歯が抜けてしまった場合は、歯肉が大きく下がります。親知らずの埋まっている位置が浅い場合、埋まっていたはずの歯の頭が出てきてしまうことがあります。高齢で智歯周囲炎が起こるのはこのパターンです。

また、入れ歯を使い始めると、こすれて痛みが出てしまう場合や萌出時の圧迫痛や歯並びへの影響、磨きにくいことによるむし歯もあります。

親知らずがなくても、ものを噛むことへの影響はほとんどないため、前述のような症状が出た場合や症状がなくても今後でくる可能性がある場合には抜歯をお勧めします。親知らずの抜歯は、抜歯後の腫れや痛みが続くことが多いため、年齢が若いうち、他に基礎疾患が出ないうちに抜くほうが弊害は少ないです。不安な方は、早いうちから歯医者でしっかりと診断をしてもらいましょう。

■問い合わせ 岡谷下諏訪歯科医師会 FAX 23-1805